



市民参加事業の主な意見について

地方創生推進部 政策企画課

次期総合計画策定に係る市民参加事業一覧

多様で幅広い市民の皆様からご意見をお聞きし、次期総合計画の策定に活かすため、グループインタビューやアンケート等を実施しました。

【グループインタビュー・ワークショップ】

種別	対象	参加者	実施日時、場所	トークテーマ（主なもの）
市内大学・高専・専門学校生 グループインタビュー (p.4)	長岡市内の大学・高専・専門学校生	75人	2024年11月5日～11月8日 市内10校 ※開催学校詳細についてはp.4参照	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の暮らし、仕事への希望 長岡に住み続けたい/戻りたいか 10年後の長岡市がどのようなまちになってほしいか
市内女性就業者 グループインタビュー (p.7)	市内企業に就業する女性	8人	2024年11月7日 10時～11時 アオーレ長岡 東棟301会議室	<ul style="list-style-type: none"> 理不尽を感じたり、もやもやするとき 自分に自信を持って、いきいき過ごせるとき 10年後、どのように暮らせているといいか
都内就業者（長岡出身者） グループインタビュー (p.8)	長岡市出身もしくは市内学校卒業で、現在首都圏で就業されている20～30代の方	8人	2024年11月29日 19時～20時30分 NTTデータ経営研究所会議室	<ul style="list-style-type: none"> 長岡市を離れた理由 長岡市が戻りたくなる、選ばれるまちになるには
子育て世代 個別インタビュー (p.10)	子育て世帯の方	16人	2024年11月23日 午前 子育ての駅てくてく、子育ての駅ぐんぐん	<ul style="list-style-type: none"> 子育てにあたっての困りごと 長岡市の子育て環境の良いところ 長岡市の子育て環境の改善してほしいところ
市内シニア世代 グループインタビュー (p.11)	市内在住のシニア世代の方	11人	2024年12月6日 10時～11時30分 さいわいプラザ 501会議室	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の楽しみや生きがい 長岡で生活するうえで便利なことや不便なこと これからの長岡市の理想の姿
長岡市新規採用職員 ワークショップ (p.12)	R6年度長岡市新規採用職員	67人	2024年10月2日 13時～13時45分 アオーレ長岡 東棟大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 10年後の長岡市の理想像 理想像の実現に向けて力を入れるべき取組み
市内若手職員合同 ワークショップ	市内の若手就業者 (大光銀行・日本精機・長岡市役所)	30人	2024年12月10日～2025年2月13日（計4回） アオーレ長岡大会議室、大光銀行大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 長岡の未来を考える (2/13最終日に総合計画の提案発表予定)

実施中

【アンケート】

種別	対象	回答者	実施時期及び方法	質問（主なもの）
速報 市民5000人アンケート (p.14)	市民5000人 (無作為抽出)	2,004人	2024年12月5日～12月25日 アンケート用紙を対象者に郵送、WEB又は紙により回答	<ul style="list-style-type: none"> 回答者のご自身に関すること 市全体に関すること 市政の様々な分野に関すること（福祉、健康、交通、住環境、行政サービスなど） 全48問
速報 全市民対象Webアンケート (p.17)	市民の皆さんどなたでも	1,376人	2024年12月25日～2025年1月15日 市政だより1月号及び長岡市SNSで周知、専用フォームから回答	<ul style="list-style-type: none"> 長岡市に特に力を入れてほしい取り組み 10年後長岡がどんなまちになっていると良いか
市内団体等アンケート (p.20)	市政に関係する団体	60団体	2024年12月2日～12月20日 各団体へ調査票を郵送し、専用フォームから回答	<ul style="list-style-type: none"> 長岡市の良い点、強み、継続すべき取り組み 理想とする長岡市の姿
市内中学生アンケート (p.22)	市内の中学生	702人	2024年12月4日～12月25日 学校を通じて周知、専用フォームから回答	<ul style="list-style-type: none"> ずっと長岡に住み続けたいか 長岡の自慢できるところ 10年後長岡がどんなまちになっていると良いか

【その他（他課が実施したアンケート等で参考にしたもの）】

種別	対象	回答者	実施日、場所、方法	質問・トークテーマ（主なもの）
こどもの意見聴取 (子ども・子育て課実施)	市内の小学生	44人	2024年8月16日 四郎丸児童クラブ 2024年8月19日 希望ヶ丘児童クラブ 2024年8月21日 中之島中央児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> 〇じぶんたちのばしょをよりよくしよう じどうクラブで楽しいところややってみたいこと たのしいばしょやあったらいいな
若者意識調査 (子ども・子育て課実施)	19歳から39歳の市民	2,029人	2024年7月1日～7月16日 郵送で調査協力を送付、WEBにより回答	<ul style="list-style-type: none"> 結婚や子育てに関する考え 外出頻度、就業 自分に対する想いや将来に対する考え
長岡市に暮らす若者の意識調査 (ながおか・若者・しごと機構)	16歳、17歳の市民	1,125人	2024年11月1日～11月29日 郵送で調査協力を送付、専用フォームから回答	<ul style="list-style-type: none"> 進路について 仕事に対する意識 長岡に住み続けたいかの意向と理由 最近興味・関心があること

集計中

※こどもの意見聴取及び若者意識調査（子ども・子育て課実施）の結果は、右のQRコードまたは、下記のURLから確認できます。

<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate02/hearing.html>



10年後の長岡市はこんなまちになってほしい！市民の皆さんのご意見

インタビューやアンケートでお聞かせいただいたご意見の主なものをキーワードごとに整理しました。

若者・人材育成

- ・若者が活躍できて、ずっと住み続けたいと思えるまち
- ・若者が夢を持てるまち
- ・米百俵の精神に基づいた、人材を育て活かせるまち
- ・若い人が長岡に戻ってきたいと思えるまち
- ・若年層の働き手の減少を食い止めて
- ・米百俵のスピリット

ウェルビーイング

- ・誰もが安全に自分らしく暮らせるまち
- ・心の豊かさを感じられるまち
- ・長岡市で生まれ育ってよかったと思えるまち
- ・市民が長岡市に誇りを持てる環境に
- ・みんなが平和に暮らすことができるといい
- ・みんなが笑顔で暮らせるまち

子育て・教育

- ・子どもにとって安心安全まち
- ・安心して子どもを育てることができるまち
- ・子どもを産みたい人が産みやすく育てやすいまち
- ・教育環境の維持
- ・日本一かつ世界でも指折りの教育のまち
- ・IT教育が日本一進んでいるまち

働き方・しごと

- ・仕事と子育ての両立ができる環境に
- ・労働環境の改善してほしい
- ・経済面で安心して生活できるように

産業

- ・働きたい仕事がある
- ・若者が働く場所に困らないまち
- ・魅力的な企業がたくさんある
- ・上場企業があり雇用が安定したまち
- ・農水産業が振興しているまち
- ・北陸、新潟、関東を繋ぐハブとしての産業拠点

インフラ

- ・公共交通が充実したまち
- ・自動車に頼らない生活ができるといい
- ・支所市域の交通の利便性向上
- ・除雪に強く、雪が降っても安心して暮らせるまち（屋根の雪下ろし・交通渋滞）

高齢者・福祉

- ・老後の心配がない福祉の充実
- ・高齢、障がいを持っている人、一人暮らしの人が安心して暮らせるまち
- ・病院の維持・機能、福祉サービスが整っているまち
- ・安心して受診できる医療機関が充実したまち

住みやすい・住み続けたい

- ・子どもから高齢者まで住みやすいまち
- ・女性や若い人が住みやすいまち
- ・子どもが大人になっても住み続けたいと思うまち
- ・他の地域の方から住んでみたいと思われる魅力あるまち
- ・長岡に住んでいることに喜びを感じるまち

活気・活性化・にぎわい

- ・活気のあるまち、若者が集まるスポットがほしい
- ・駅前活性化
- ・活気あふれる地域の中核都市
- ・商業施設が増え、にぎわいのあるまち

安心・安全

- ・防災に力を入れてほしい
- ・自然災害に強い安全なまち
- ・災害に備えた安全安心なまち
- ・事件や事故の心配のないまち

文化・歴史・スポーツ

- ・歴史や文化を継承してほしい
- ・スポーツや芸術を通じて心の豊かさを実感できるまち

地域

- ・地域の資源や魅力を大切にしながら発展していくまち
- ・合併地域がそれぞれの特色を生かせるまち
- ・コミュニティのしっかりしたまち
- ・山間地域も住みよいまち

環境・自然

- ・地球にやさしい環境を整えているまち
- ・今と変わらず自然が豊かなまち（田舎のままでいい）
- ・発展しつつも自然は残して
- ・気候に左右されないまち

人口

- ・人口を維持してほしい
- ・Uターン人口が増加する魅力あるまち
- ・子どもの数が増えるまち

観光・交流

- ・県外から人を呼べるまち
- ・観光客がきてほしい
- ・海外との交流が増えるまち
- ・長岡花火以外も日も観光客を呼べるまち

人権・市民協働

- ・市民が公平公正な社会であると感じられるまち
- ・人権を大切に多様性に配慮した温かいまち
- ・自助・共助・公助のバランスが取れたまち
- ・高齢男性が主導権を握っている現状が解消されるまち
- ・個人だけでなく地域全体で支え合うまち

行政・まちづくり

- ・市民税金納付額の少ないまち
- ・DXを使った効率的な税金の活用をして
- ・財政破綻せず利用が少ない施設が廃止される
- ・中越地域の中心として拠点性を高めてほしい

市内大学・高専・専門学生グループインタビュー

住み慣れた長岡で就職したいという声がある一方、希望する企業・職種がないため首都圏に出るという声も多数

学校の性質や学年によって傾向の違いはあるものの、市内出身学生においては「長岡に残って働きたい」「一度長岡を離れてもいつか戻ってきたい」という思いを持つ方が多かった。希望する企業/職種が市内になかったり、給与・福利厚生といった待遇面の違いから市外就職を選択するケースが多いが、それ以外にも、企業の情報が不足しており検討しづらいことが市内就職のハードルとして多くあげられた。

今後の長岡市については、駅前の賑わい創造や若者が楽しめる場所が増えること、交通の利便性向上について期待する声が多かった。

- 対象 長岡市内の大学・高専・専門学校に通う生徒のみなさん
- 日時 2024年11月5日（火）～11月8日（金）
- 参加者 75名
- 場所 長岡大学、長岡造形大学、長岡崇徳大学、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、長岡公務員・情報ビジネス専門学校、北陸福祉保育専門学院、北陸食育フードカレッジ、悠久山栄養調理専門学校、長岡美容専門学校

テーマ

卒業後市内に残る理由

- **地元、地域に貢献したい**
 - ・実家から通勤できること、地元で貢献できることを重視した。地元の高齢者をサポートしたい。また、**地域のお祭り等の行事にも参加したい**
 - ・子育て支援センター「ぐんぐん」でのボランティア活動を体験したことをきっかけに、地域に出ていき現場を支える仕事がしたいと考えようになった
 - ・市内でお世話になった方々に恩返しをしたい。家族との時間も大切にしたい
- **やりたいことができるのであれば、地元なので残りたい**
 - ・**地元の友人が多いため**、できれば市内で就職したい。関係性が続くと良い
 - ・やりたいことがやれる市内企業に就職できるのであれば、残っても良いと思っている。長岡市は東京へのアクセスも良い
- **環境が合っているため、住み慣れているため**
 - ・自然やスキーが好きなので、今の環境で暮らしたい
 - ・都会の生活が自分には向いていないと思うので、長岡市に住み続けたい
 - ・長岡市に不満はないため、住み続けたい
 - ・**住み慣れた環境**であるため、長岡市で働きたいと思っている

卒業後市外に出る理由

- **就職したい企業/職種が市外にあるため**
 - ・地元企業を検討していたが、**関心のある分野に強い企業は市外県外にしかなかったため**（航空機整備、ウイスキーに携わる企業、先端研究、音響関連、IT系の企業）
- **市外で経験を積んでみたい、スキルを磨きたいため**
 - ・表参道のヘアサロンに就職する。有名な美容師がおり、多少厳しい環境でもしっかりと**高い技術を学んで対価として良い給料を得たい**
 - ・実力をつけるために関東で、**経験と技術を積んでいきたい**
- **給与、福利厚生観点で市外企業が魅力的だったため**
 - ・東京の企業の方が**賃金や福利厚生の待遇が良く、行政から家賃補助などの支援**もあるため
- **新しい環境で生活したいため**
 - ・卒業後は県外に出ると高校生の頃から決めていた。一度外に出た方が良いと思っており、家族からも勧められた
- **趣味がしやすくなるため**
 - ・**趣味のために**交通費・宿泊費がかからない環境を考えた結果、関東圏が魅力的だった
- **外国人が働きやすい職場が無い**
 - ・**英語でコミュニケーションができる職場が市内に無かったため**（留学生）

テーマ	主な意見
市内就職を検討しづらい理由	<ul style="list-style-type: none"> ・特に工作機械関連では良い企業が市内にあるが、情報発信が少なく、自分からかなり努力しなければ市内企業の情報が得られない。市外出身の学生にはほとんど認知されていないと思う ・首都圏の企業は、職場の雰囲気がわかるような情報発信や職場体験などをさせてくれるが、市内の企業ではあまりない ・市内の求人は、求人票に記載がある内容以外に職場のことがわかる情報が無い。一方で、首都圏の企業はウェブサイト、パンフレット、SNSなどで情報発信をしており働く環境がイメージしやすい
卒業後市外に出るが戻ってきたい場合の時期、理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 経験、スキルを積んでから帰ってきたい <ul style="list-style-type: none"> ・関東で経験と技術を培い、将来的には長岡で自分の店を持ちたい ・テーマパーク運営や地域創生を行う企業に内定している。経験を積んだのちに長岡に貢献できる新規事業を立ち上げたい ・東京で資格取得後に、良い転職先があれば長岡市に帰りたい ● 地元であり住みやすいため、戻ってきたい <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市に戻ってきたい。自分の地元が住みやすい。多くの友人が長岡市に帰ってきたいと言っている ・友人に会いたいので、いつか戻ってきたい ● 就職先の企業で働きながら戻れるのであれば、戻りたい <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク等の働き方ができるのであれば長岡市に住みたい ● 結婚や子育てのタイミングで戻ってきたい <ul style="list-style-type: none"> ・将来子育てをする段階では、両親のフォローを受けられる長岡市に戻ってきたい ・自然が豊かで食事も美味しいのでそういったところで子育てしたほうが良いと思うため ・周辺自治体と比較して、子育て環境が充実していると先輩等から聞くので、結婚・子どもができれば長岡市に戻ってきたい



テーマ	主な意見
<p>10年後の長岡市はどのようなまちになってほしいか そのために何をしたらよいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅前の活性化、若者が楽しめる場所の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺がシャッター街になってしまっている。居酒屋だけではなく、子どもや若者が楽しめる場所が増えてほしい ・ 長岡駅を中心に商業施設を増やしてほしい ・ 若い人が休日に過ごせる施設などがあるとにぎやかになると思う ・ 長岡駅から徒歩圏内に遊べる施設を増やしてほしい。アピタに行くにはバスが必要で便が悪く、ミライエは図書館の後継施設であり遊ぶ施設ではない ● 交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10年後、車が無くても生活しやすくなってほしい。高校生まではどこに行くにもバスや電車が少ないので親の送迎が必要 ・ 車がないと生活がしにくいので、バスなどの公共交通が増えるとよい ・ 交通の便が悪い。バスを増やしてほしい。中之島地域にはバスが少ない ・ 交通手段を充実させると、長岡の魅力に気づくことができる。車を持たない一人暮らしの学生にとっては、良い景色に出会えず、「長岡って微妙だね」と思ってしまう。発見を増やしてあげることに取り組んでほしい。魅力を知らないことが一番もったいない ● 長岡の良さの維持 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が感じられる場所が多く、自然とまちがちょうど良いバランスである ・ これ以上都会化しないでほしい。無理にIKEAやコストコなど誘致しないでほしい。実家の地元にGUなどができたが、車が増えて悲しい気持ち。今のよ うな都会と田舎のほどよい感じが続いてほしい ・ 自然が豊かなのは良いと思う。10年後もそのまま良いと思う ● 子育て、子どもの重視 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい未来のためには、子どもが多いことが条件だと感じる。(出身地である)和島地域にある小学校は、校舎は立派なもの生徒数は70名程度であることを知った。このとき、子どもに与えられた環境が窮屈で刺激が少なく、出会いが制限されたもののように感じた ・ 緑豊かな自然環境は残しつつも、若い世代を対象にした子育て支援を手厚くし、子育て世代の転入を増やしたい ● その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミライエなど、居場所づくりに尽力いただいているが、その先の活用方法を考えないともったいない。ミライエハウスは結構ガラガラ、ステップで寝ている学生もいる。あの場所を有効活用してほしい。学生が長岡のおもしろい企業や大人と出会える場があると、地域外への流出も防げるのではないか ・ 留学生も多いため、日本語が上手でない人でもアルバイト等で働ける場所が増えて欲しい ・ 長岡高専、長岡技科大があり、機械系・技術系の企業も多いため、「ものづくりの街」として有名になり、人も集まると良い ・ 長岡花火以外にも賑わいがほしい ・ 長岡市に帰ってくる人への補助や、働き続けたら奨学金が免除になる等、残る人へのインセンティブがあると良い。長岡市は待遇面が低く、補助等も少ないため、東京に行ってしまう

市内女性就業者グループインタビュー

仕事にやりがいを感じている人が多く、職場の労働環境の整備を希望。家庭での負担の大きさに不満の声も

在宅ワークや業務配置など、気持ちよく生涯働き続けられるため、働きやすい職場環境の整備を希望する声が多かった。子どもや若者にとって住みやすく、誇りを持てるまちづくりを期待する声も多く上がった。

- 対象 市内の企業にお勤めする女性従業員のみなさん
- 日時 2024年11月7日（木）午前10時から午前11時30分
- 参加者 8名（20代から50代）
- 場所 アオーレ長岡 301会議室

テーマ	主な意見
市内の職場を選んだきっかけ	<ul style="list-style-type: none">・ 実家を出るといった感覚がなく、市内で就職先を探した・ 東京の大学に進学したが、満員電車や子育て環境を考え地元に戻った・ 実家から勤め先に通勤できるということが第一条件・ 新潟出身の夫との結婚で長岡へ。市内で勤め先を探した。就職したときは育児環境が整っていなかったが、今は育児しやすい会社になった
理不尽を感じたり、もやもやするのはどのようなときか。	<ul style="list-style-type: none">・ 職場において子育て中の女性社員が休んだ際のフォローを毎回しなければいけないなど、不公平感を感じる時・ 家庭において、子どもの送迎や体調不良時に、仕事や会合を諦めなければいけないとき。夫は突発的な予定に参加できるが、自分は事前に調整する必要があるとき・ 女性特有の問題（生理等）があっても、職場に女性管理職が少なく、相談ができないとき・ 役員や上司に意見を言ったり提案をしたりしても聞き入れてもらえないとき・ 職場以外のコミュニティがつかれず、土日仕事のことを考えてしまうとき
自分に自信を持って、いきいき過ごせるのはどのようなときか。	<ul style="list-style-type: none">・ 仕事を通じて新しいことに挑戦しやり遂げられたとき、成果を出せたとき、部下が成長したとき・ 仕事以外のコミュニティ（家族、友人、推し活）で人と交流しているとき・ 社内の人や顧客から頼られていると感じるとき・ 子育てをしているとき・ 長岡市や新潟県の自然環境でリフレッシュができる時
10年後、どんなふうに住らせてほしいか。そのためには、職場や地域にどう変わってほしいか。	<ul style="list-style-type: none">・ 結婚、出産、介護などライフスタイルが変化しても働き続けたい。そのためには、職場には在宅ワークの促進や、生活スタイルに合わせた業務配置、育休を最低1年は取得できるような労働環境の改善をしてほしい・ やりたい仕事を通じて、経済面・金銭面で安心できる生活をしたい。定年後も今までの経験を活かせる場所で働いてほしい。そのためには、女性は仕事と子育ての両立が難しいため、両立できる環境になってほしい・ 職場で男性が女性の体調を理解してくれない状況が改善されてほしい・ 特に子どもにとって安心安全な地域であってほしい。そのためには、特に冬季にはスクールバスを導入してほしい・ 市民が長岡市に誇りを持つことができる環境であってほしい。特に若い人が外に出て戻ってきたい、長岡市で過ごしたいと思えるまちにしてほしい・ 若年層の働き手の減少を食い止めてほしい。そのためには、市や職場には奨学金免除や一人暮らし家賃の補助、新卒給与の向上などに取り組んだり、幼少期から長岡市の職場体験を増やしたりしてほしい



都内就業者（長岡市出身）グループインタビュー

「やりたい仕事」、「多様な体験の機会」を求めて首都圏へ

市内にはない職業/職種や文化的環境を求めて首都圏へ出ているため、現時点で戻ることが具体的に検討している方はいなかった。

一方で、首都圏にはない自然環境やゆとりのある生活への魅力を感じており、リモートワークの制度的・環境的整備や金銭的負担の軽減などによって2拠点居住のハードルが下がれば拠点として検討したいという声も多かった。

- 対象 長岡市出身で、現在首都圏で就業されている20～30代のみなさん
- 日時 2024年11月29日（金）午後7時から午後8時30分
- 参加者 8名
- 場所 NTTデータ経営研究所会議室（東京都千代田区）



テーマ	主な意見
長岡市を離れた理由/ 首都圏で生活している理由	<p>進学時に市を離れた理由</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市内の学校では学べない分野（演劇、行動科学等）の勉強をしたかったため・ 新しい場所・環境で生活をしたかったため <p>首都圏で生活している理由</p> <ul style="list-style-type: none">・ 長岡の日照時間が短くて暗いことや、雪が多いことが嫌だったため・ 東京の方が新しいことを始める機会（ビジネスチャンス等）が多いため・ 長岡にあまりない職業/職種（ITエンジニア、コンサルタント、航空会社等）に就きたかった、キャリアの選択肢を広げたかったため・ 東京の給与水準で働きたかったため・ 既に生活基盤が東京で構築されているため・ 東京は、文化的な活動を行ったり（演劇、ダンス等）、体験する（ライブ鑑賞等）機会が圧倒的に多いため。
長岡市に戻りたいと 思っている場合、その理由	<ul style="list-style-type: none">・ 生まれ育った地域（長岡）に貢献したいから・ 東京の競争環境を避け、自然や趣味（車、自転車、アウトドア等）を楽しみながら、ゆとりのある生活を送りたいから・ 通勤電車の混雑や、高い家賃負担等が嫌であるから・ 両親の面倒を見たり、長岡で生活する家族と過ごしたいため・ 東京や自然豊かな場所（長野、福島等）へのアクセスが良いため・ 長岡ならではのイベント（長岡花火等）が魅力的なため

テーマ	主な意見
<p>長岡市に戻りたいとは思っていない場合、その理由/戻ることを考えた際のハードル</p>	<p>仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> 長岡に希望する業界・職種の労働環境が無いため 東京と比べて給与水準が低いため <p>アクセス、交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 長岡・東京間の交通費が高価なため 長岡から東京以外の大都市（大阪、福岡等）へのアクセスが良くないため 自動車の運転ができず、生活が不便になるため <p>文化風土等</p> <ul style="list-style-type: none"> 長岡の日照時間が短くて暗いことや、雪が多いことが嫌であるため 長岡の人や雰囲気が暗いと感じるため 新たに生活基盤、交友関係を構築する必要があるため 文化的な活動を行ったり（演劇、ダンス等）、体験する（ライブ鑑賞等）機会が少ないため
<p>長岡に戻りたくるには/長岡が選ばれるまちになるには</p>	<p>仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元で就職したくなる魅力的な企業を増やす、長岡市に少ないIT関連企業を誘致する 東京と同等の給与水準を確保し、余裕のある生活を送れるようにする リモートワーカー（IT人材等）に対して、首都圏と同等のリモートワーク環境や、交通費支援、対面でコミュニティを形成する機会（勉強会、イベント等）を提供する 二拠点居住を支援する補助制度を強化する <p>魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 「職人のまち」といったブランディングにより、他都市との差別化を図る 長岡特有の魅力（花火大会等）をさらに訴求する リモートワーカーや二拠点居住者の事例をSNSで発信し、長岡の魅力を可視化する <p>交通環境等</p> <ul style="list-style-type: none"> 長岡駅周辺と郊外商業施設の利用者が相互に利用しやすい環境をつくる 公共交通機関（バス・電車等）のインフラを整備し、自動車に頼らない生活を支援する 長岡で生活する際にかかる費用（自動車に係る費用等）に対して定期的な補助金を出す



子育て世代個別インタビュー

「子育ての駅の満足度が非常に高い結果に。経済面での負担に不安を感じている声も」

市内外在住者ともに、長岡市は子育て環境が比較的充実しているとの声が多かった。一方で、第2子以降について経済的ハードルを感じる声や、ファミサポ・病児保育の使いにくさについて改善を求める声があった。

- 対象 子育て中の保護者のみなさん
- 日時 2024年11月23日（土）午前
- 参加者 16名（市内在住12名、市外在住4名）
- 場所 子育ての駅（ぐんぐん、てくてく）



テーマ	主な意見
子育ての駅について	<ul style="list-style-type: none"> ● 広く天候が悪い時でも子どもが走り回れる。前の居住地でも同様の施設があったが有料だった 【市内：母】 ● 育休中で保育園の利用時間が短いため、お迎え後に毎日どこかの子育ての駅を利用している。遊ばせる場所があり助かっている 【市内：父】 ● 帰省のたびにぐんぐんを利用している 【市外：母】 ● 上の子（7歳）はだんだん物足りなくなってきた 【市内：父】
子育てにあたっての困りごと、大変なこと、不安なこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 2人目、3人目も欲しいが、経済面での負担が大きく不安である 【市内：父】 ● 子育てについてネット等で調べても情報が多すぎ、どの情報が正しいのか判断できない 【市内：母】 ● 首都圏から移住してきたが、東京と長岡では子どもが経験できることの種類や機会の多さに大きな差がある 【市内：父】 ● 市外出身のため、祖父母からのサポートが受けられないことが多く、負担が大きい 【市内：母】 ● 栃尾地域在住のため、子どもが小学校・中学校に入学した際に同級生・友人が少ないことが気になり 【市内：母】
長岡市の子育て環境の良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 全般的に子育て施策が充実していると感じる 【市内：父母】 ● 子育ての駅など、子どもと過ごせる施設が多く助かる 【市内：父】 ● 居住市より子育て環境が充実している。 【市外：母】 ● 保育園の先生の対応がとてもよい 【市内：父】 ● 前の居住地（首都圏）より保育士の配置が手厚い 【市内：父】 ● 保育園の入園ルールが親の実態に寄り添ったものになっている（新潟市では親が4月に復職しないと4月から保育園入園ができないが、長岡市では5月からの復職で良い点など） 【市内：母】
長岡市の子育て環境の改善してほしいところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 育児の相談をしたいが電話をするのはハードルが高いため、オープンチャットなど相談方法が増えるとよい 【市内：母】 ● 市がPRしている割にファミサポや病後児保育、休日夜間の急患診療が使いにくい（休日夜間診療は川東にしかない） 【市内：父】 ● ベビーシッター等の家事育児補助サービスを使いたくても、そもそも事業者がいないうえ、事業者の誘致や支援を行ってほしい 【市内：父】 ● 経済面の負担が大きいため、ミルク代やオムツ代や保育料、医療費等の手当・補助があると嬉しい 【市内：父母】 ● 保育園入園の手続きが複雑であるため、スムーズになるとよい 【市内：父】

市内シニア世代インタビュー

交通の不便さに関する意見が多数。グランドゴルフや地域行事などにより仲間との交流を楽しむ

支所地域を中心に、バスの接続が悪い、利用したいときにタクシーが利用できないなど、公共交通に関する意見が多い。他にも、人口減少により、賑わいがなくなってきているという意見もあった。

●対象 市内老人クラブ連合会に所属するみなさん
●参加者 11名（70代、80代）

●日時 2024年12月6日（金）午前10時から午前11時30分
●場所 さいわいプラザ 501会議室

テーマ	主な意見
日頃の楽しみや生きがいについて	<ul style="list-style-type: none"> 登山や卓球などスポーツを楽しんでいる 町内会で実施するグラウンドゴルフが楽しみ なるべく人と接するようにしている。公民館で週3回のダンスを楽しむほか、施設などに出向いて音楽を通して障害のある人と交流している 地域の会長として健康カラオケを月1回実施している（10～15人参加） 旅行や夫婦で楽しい食事をするのが楽しみ 息子夫婦が働いているため、孫の送迎を毎日している 「歩こう会」を立ち上げ、まちの中（地域）をみんなで歩いている
長岡で生活するうえで便利なこと、不便なこと	<p>【便利なこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急医療体制が非常にいい。高齢者にとって住みやすいと感じている 町内会や老人クラブなど活動する場が多いところがいい <p>【不便なこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシーが少ない、（支所地域に向かう）バス、デマンドタクシーの接続が悪いため、免許を返納すると買い物や病院などに行けなくなる 大手通の開発は進んでいるが、駐車場が満車の時もあり不便 空き家も多く支所地域が寂れてきている。支所の機能がだんだんと縮小されており、自分たちの声が届くのか不安に思っている 歩道除雪がされていないことがあるので歩くのに危険。除雪をする人もいない 子どもがどんどん減っている、後継者がいない。町外から転居してきた人が町内の活動に一生懸命。まちの活性化が必要
これからの長岡市の理想の姿について	<ul style="list-style-type: none"> 冬でも歩きやすいまちにしてほしい ハコモノは要らない。昔の自然がある地域に戻してもらいたい 県外から人を呼べるように。支所地域の魅力的な資源を活かしてほしい 女性が住みやすいまちにすると結果、男性もついてくるようになる 若い人が住みやすいまちになると良い。地域で事業をする場合の補助があるといい 河川の整備がされていないように感じる。水害が起きないように防災に力を入れてほしい 高齢者が健康になれば医療費の削減が図れるため、老人クラブへの補助を増やしてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> サル、イノシシなど害獣が増えているので、駆除をしてもらいたい 若い人が外に出ていくので、家族で生活する機会がなくなっている 地域の人口減少が激しい。施設はいいものがあるので、もっとPRしてほしい

長岡市新規採用職員ワークショップ

子育て支援や多様な働き方の実現、市内外への魅力発信により「だれもが住み続けたいまち」になっていることが理想

長岡に残る人、U・Iターンにより長岡に戻ってくる人を増やすために、観光資源の魅力発信、多様な働き方ができる企業の誘致、子育て支援の充実により、長岡で就職し、安心して子どもを産み育てられるまちを目指す必要があるという意見があった。

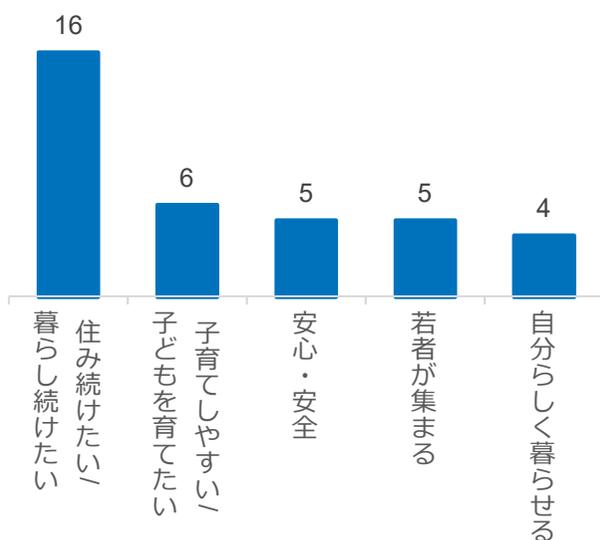
一方で、若者が転出することは悪いことではないという意見もあり、就職時やライフステージの移行に伴うUIターンのニーズを逃さないよう情報発信や支援策を充実させる必要があるという意見もあった。

- 対象 R6年度長岡市新規採用職員
- 参加者 67名
- 日時 2024年10月2日（水）午後1時から午後1時45分
- 場所 アオーレ長岡 大会議室

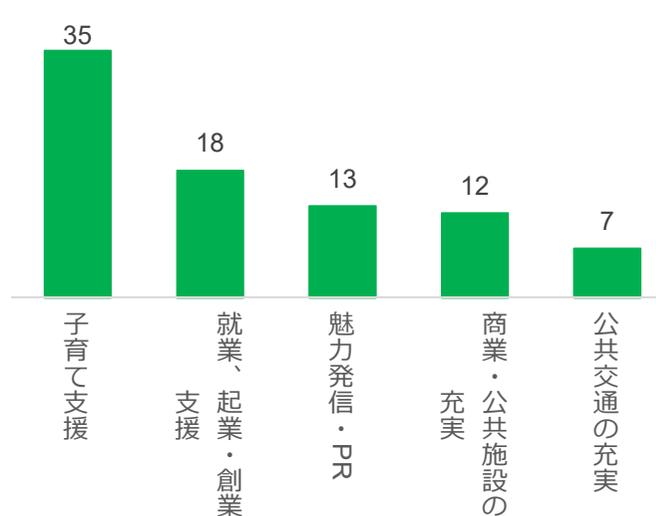
テーマ	
10年後の長岡市の理想像	理想像の実現に向けて力を入れるべき取組
若者が活躍できて、ずっと住み続けたいと思えるまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様なキャリア形成の機会提供 ● 文化・娯楽施設の充実
誰もが好奇心を持ってすごせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きな商業施設を増やす ● 毎日歩きたいと思える活気のある通り ● お試し居住の推進
多文化共生と若者があつまるまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内や県内学生の市内企業就職促進 ● 県内留学生をはじめとした市内企業での外国人材の採用促進 ● 公共交通機関の整備を行い、住民や観光客にもわかりやすい移動手段の確保
住み続けたい、戻ってきたい、働きたいと思えるまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の特産、魅力の発信 ● 駅周辺の充実化又は商業区域へのアクセスの充実化 ● 非正規雇用数の増加に伴う制度の見直し
誰もが安全に、自分らしく暮らしつづけるまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害に強いまちづくり ● 安心して子育てできるまちづくり ● 全ての世代が健康に自分らしく過ごす
子どもから大人まで居心地よく住みたいまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て中の方の就活支援、病児保育の充実 ● 共働き、子育て中、介護者の誰もが働きやすいように ● 小中学生のうちから長岡の企業を知る機会・場を作る
米百俵の精神に基づいた、人材を育て生かせる都市	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育のボトムアップと大学へのテコ入れ ● 大学と企業の連携による人材の活用、スタートアップ支援 ● 専門学校の特長性向上、専門スキルを持った人材の育成・リスキリング

テーマ	主な意見
若者の転出に歯止めをかけるために必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 土木と食品メーカー以外の企業が乏しく、県外の大学に進学した学生が就職先として新潟県に戻ろうと思う人が少ないと思う。医療・介護系や、土木、農学などを学んだ学生しか選択しにくい環境 雇用の安定、生活インフラ整備、子育て支援、老後ケア支援、商業施設誘致等を複合的に行い、生涯にわたり住みやすい環境を整備する 一度転出した者や長岡に興味を持った若者に対して、市外での経験を生かせるように、Iターン/Uターン支援を充実させ、地元で安心して戻って来れる環境を整備する 市の政策を知らない、手続きが煩雑で面倒に感じている人がいるのではないか。政策のアピール（広報活動）と、手続きのワンストップ化を進めることで、長岡市に住みたいと思う若者が増える可能性があるのではないか 都会に比べるとまだ平均賃金も低く、安定性のない企業が多いと感じる。労働力確保のために、WEBやSNSを駆使した情報発信により地元の方だけではなく、誰でも認知できるので魅力ある企業を発信していくことで地元にとどまり、また市外からの移住にもつながると考える 市内企業全体の給与水準を上げることや地元で働くところの良い点や魅力を就活中の学生に紹介し、市内企業に就職してもらえるようにすることが必要 若く多感な時期を過ごすのに魅力的な街として県外（都会）と競争しようとしても敵わない。大学時代や20代の仕事の場として県外(都会)を選び、ライフステージの移行に伴いUターンを希望する人のニーズを取りこぼさないことを重視する 若者が一度長岡市を離れたとしても安心感や幸福感があれば長岡市に戻ってくると思う。幼いころから長岡市の魅力に気付いてもらい、長岡市が好きだと思ってもらえることが重要 商業施設の誘致やイベントの開催だけでなく、美術館・博物館・劇場等の学び場の有効活用が効果的。そのほか、長岡市の豊かな自然・美味しい食産物等を活かすなど、休日の行き場に困らないまちにする

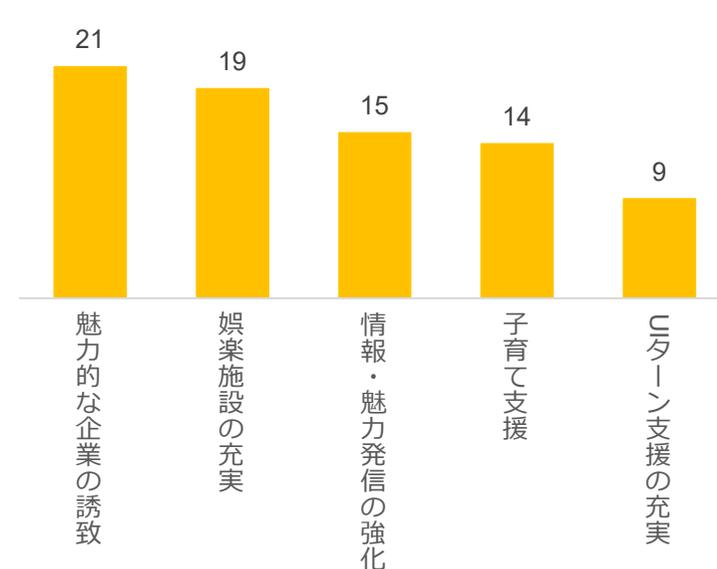
10年後の理想像
(上位5)



理想像の達成に向けて力を入れるべき取組
(上位5)



若者の転出防止策
(上位5)



市民5,000人 アンケート速報

住みたいと思う市民が7割以上。「福祉・健康・保険・医療体制の充実」「公共交通の維持・確保」を求める声も

長岡市に残りたいという市民は回答者の78%に上り、「家族・友人がいる」「愛着がある」という理由が多く挙げた。

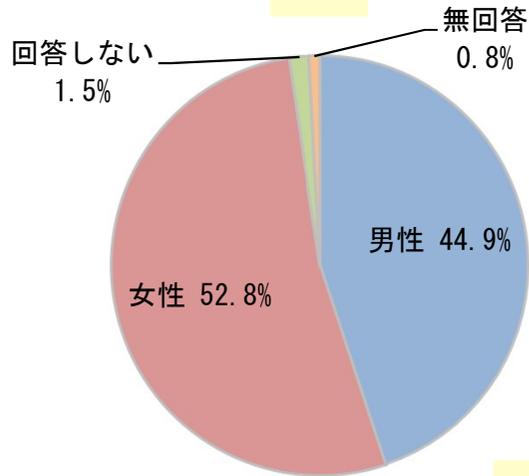
市民の幸福度を測る項目では、新潟県の平均値を若干下回る結果となった。

長岡市に対する意見としては、子育て世帯への支援充実や、教育への注力、除雪や道路整備に関する要望、公共交通の利便性向上、高齢者・障害者などへの支援の充実に関する意見が多く見られた。

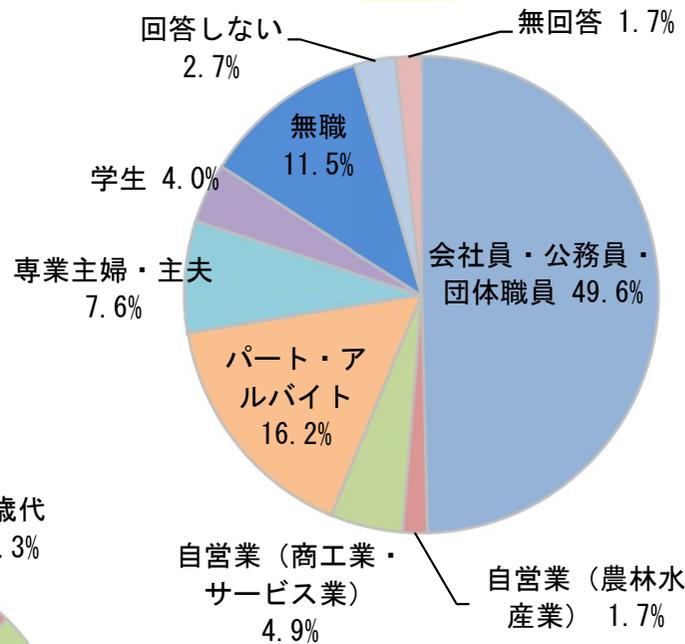
- 対象 無作為抽出した長岡市民5,000人
- 回答 2,004人

- 日時 2024年12月5日（木）～2024年12月25日（水）
- 方法 アンケート用紙を対象者に郵送、WEB又は紙により回答

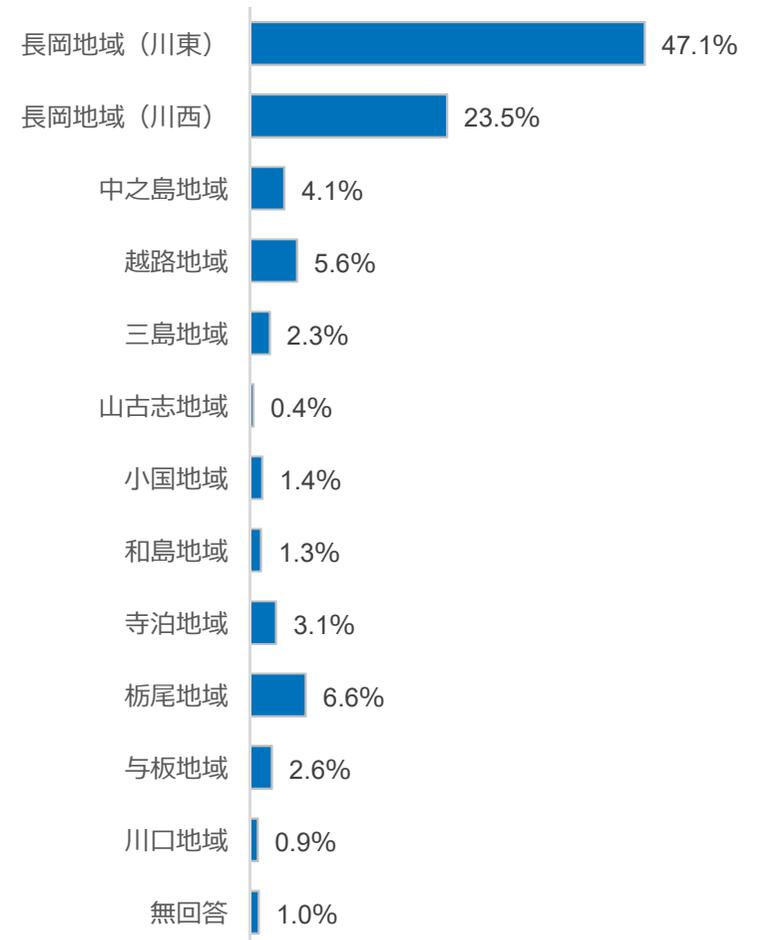
性別



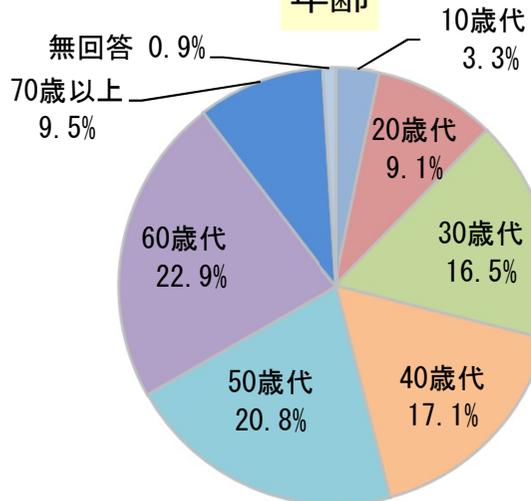
職業



居住地

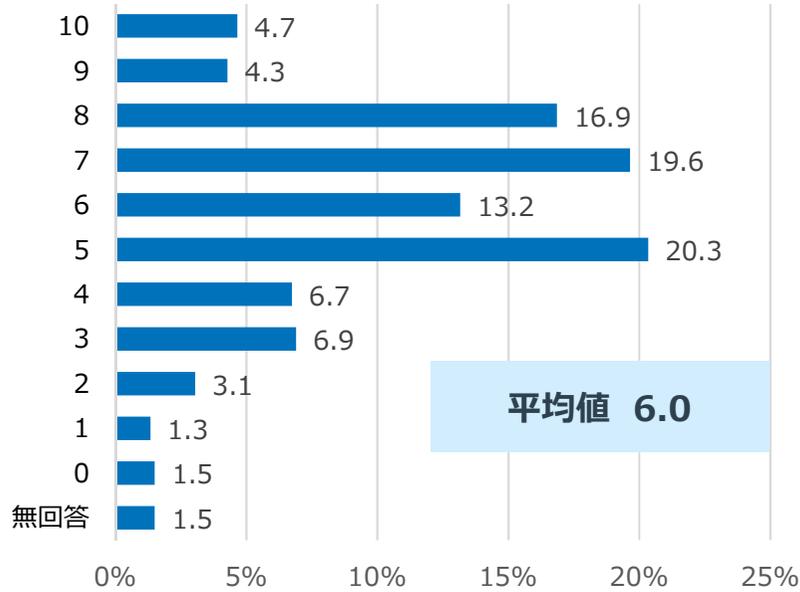


年齢

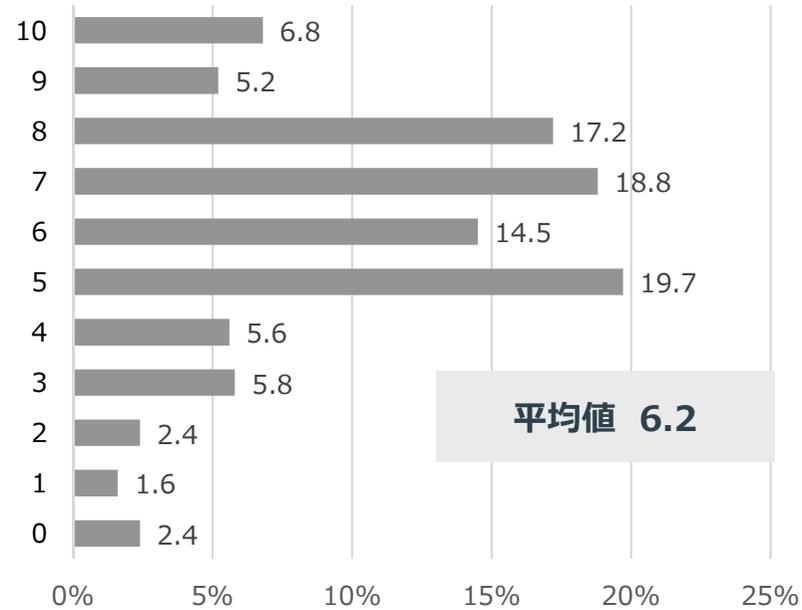


現在住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。（「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点）

長岡市（今回調査）

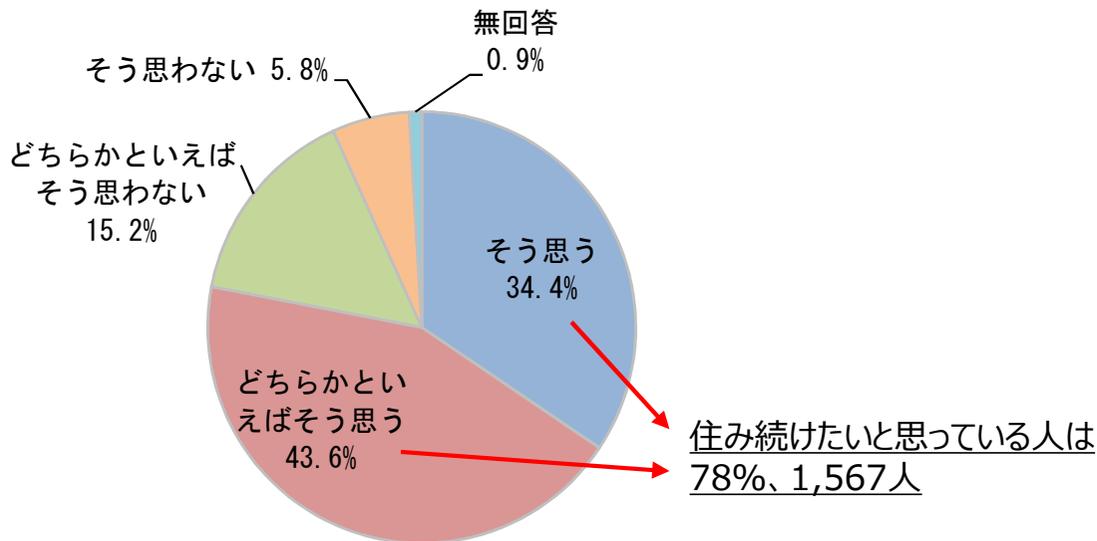


参考：新潟県 n=2,829

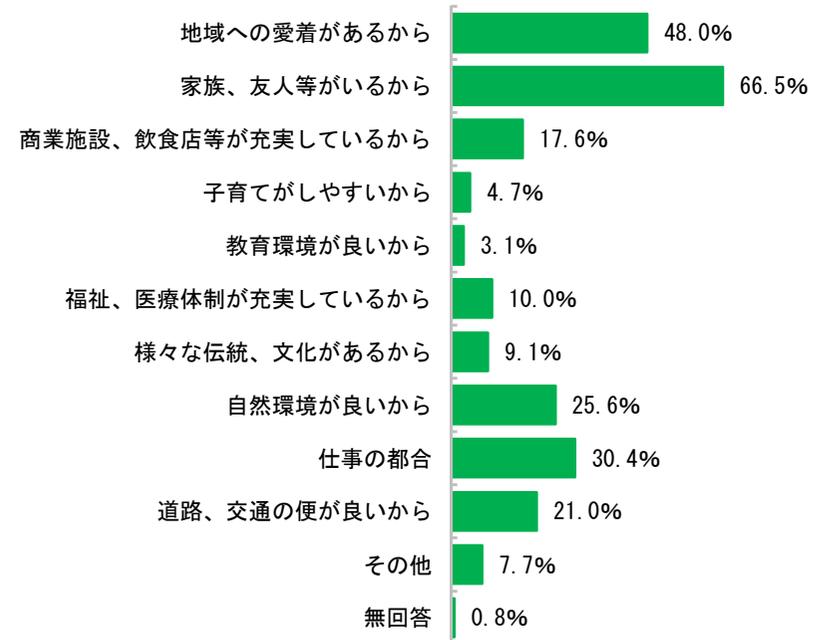


【出典】
2024年度版（令和6年度版）
Well-Being全国調査

ずっと長岡市に住み続けたいと思いますか



長岡に住み続けたいと思う理由



子育て・教育

- 子どもの医療費、保育料の軽減、病児保育の充実
- 保育園の年度途中入園への対応
- 2人目、3人目の子どもが欲しいと思っている親への支援
- 米百俵の精神に基づき、次世代の教育に予算を
- 若い人が勉強できるよう、学生に視点を置いた政策・設備

産業

- 企業・商業施設の誘致
- 起業支援など若者が定着する施策を
- 多様な方々が就職、再就職をしやすい様な手厚いサポート
- 若者が結婚して生活が成り立つような雇用を作り出して欲しい

まちづくり・インフラ

- 合併地域の生活を保障しつつ、コンパクトシティを目指す
- バスの増便、コミュニティバス、小型バスなど公共交通の維持
- 市街地の空き家対策
- 農地の買売がスムーズにできる方法を
- 融雪設備のある道路が増えてほしい
- 高齢者ドライバーの免許返納後の支援

安全・安心

- 避難所のプライバシー確保や暑さ・寒さ対策に力を入れてほしい
- 街灯が少ない、道路の白線が消えているところが多い
- 原発を稼働させないでほしい
- 人口が少なくても人が安心して暮らせる街づくりを
- 長岡駅の鳥害対策、イノシシ対策

観光・交流

- 花火以外の観光客を！市民が何度も行きたくなる場所を！
- 摂田屋の雰囲気とても良い、他県の友人を連れて行ける
- 産業や自然を活かした誘客の場作り、市外からの通年誘客
- 道の駅は地元野菜なども豊富にあるべき。気軽に利用できるように

福祉・医療

- 中心地以外でも健康寿命を延ばす政策の恩恵を受けられるようにしてほしい
- 不妊治療への支援
- 高齢者、障害者、引きこもりへの支援、ケアサービスの充実
- 病気になったときに自立支援医療の補助があり助かった

行財政

- 長期的に街の発展につながる資金の使い方であれば、納得する市民も多いと思うので、市民に示してほしい
- 老朽化している公共施設の整理
- スマホを利用した、サービス、手続きがどんどん増えている。高齢者を対象にした学習会などの取組みを増やしてほしい

その他

- 若者が都心に行くことは避けられない。都会と地方で仕事のすみ分けを
- 学業・就業における一時的な人口減少は仕方ない。地域に魅力があれば関係は切れない
- 地域コミュニティの維持に限界が来ている。外部委託などを視野に入れたプランニングを検討する必要

全市民対象Webアンケート速報

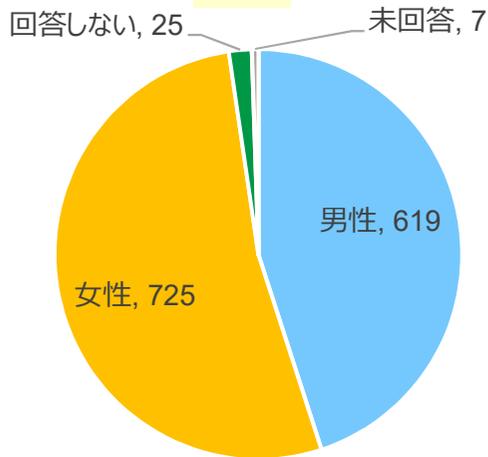
福祉・健康・保健・医療体制の充実を求める声が多く、次いで公共交通の維持・確保、子育て支援の充実が上位

高齢者になっても暮らしやすいまちになってほしいなどの意見が多数あり、全年齢で福祉・健康・保健・医療体制の充実が最も多い結果に。免許返納後の交通手段の心配などから公共交通の維持・確保を求める声、子育てに対して不安なく過ごしたい、子育て支援が充実し、子どもの教育に力を入れてといった声が多くあった。

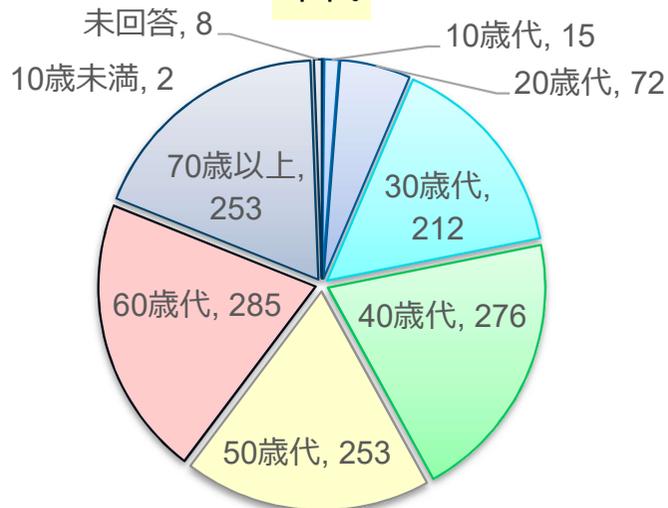
- 対象 長岡市在住の市民のみなさん
- 回答 1,376人

- 日時 2024年12月25日（水）～2025年1月15日（水）
- 方法 市政だより1月号や市ホームページに掲載しているQRコードを読み取り、ロゴフォームから回答

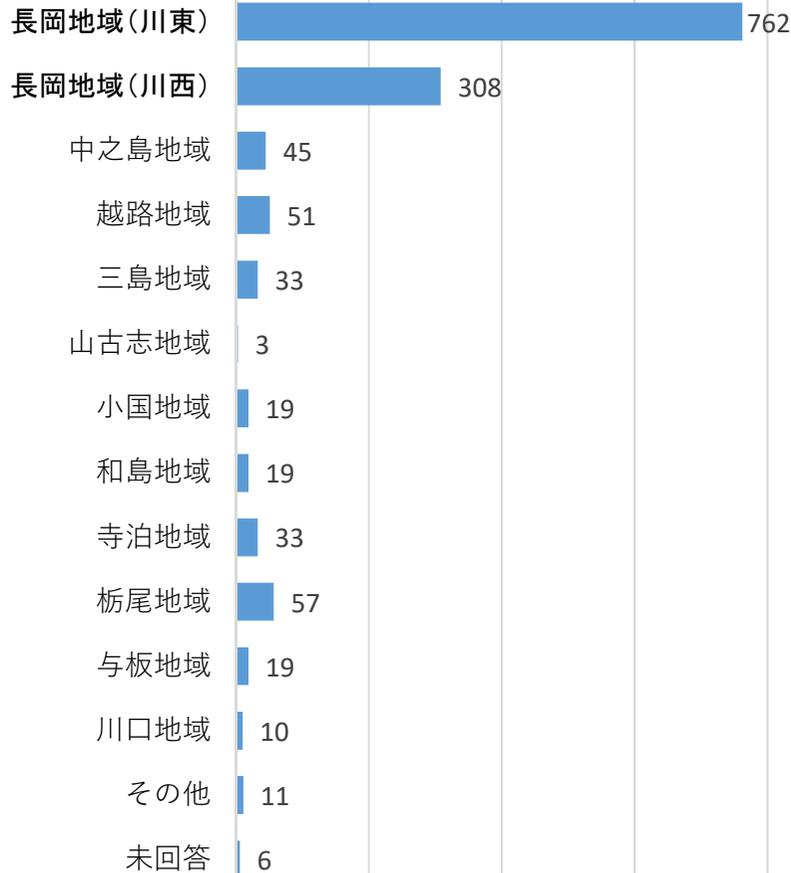
性別



年代



居住地



次期総合計画の策定へ

オール長岡で進める新たなまちづくり

図政観企画課 39・2204

市は、今後のまちづくりの方針を示す新たな「長岡市総合計画」の策定を準備しています。現在の計画は、令和7年度までの期間が満了。次期計画では、これまでの政策を活かしながら、人口減少などの重要課題に対応します。

第1回の策定委員会は、市の現状を把握し、重点すべき視点を議論。委員からは「人口減少は避けられない現実。一人ひとりの幸福が重要。一人ひとりの幸福が重要」と、活発な意見交換が行われました。

計画の策定へ

幅広い市民から意見を聞くため、市内各地でインタビューワークショップを開催。大学、専門学校は「フューチャードキュメントを充実させながら働きたい」と、遊びに行ける場所がほしいという声もあがり、子育て世代や若者も、長岡出身の都府県外からの意見も聞き、市民の声を広く反映させながら計画策定を進めていきます。

学生を代表して長岡の魅力を伝えたい

長岡市総合計画策定委員会 委員 原 祥汰 さん

市内4大学1高専の学生が交流する場をつくる団体が活動しながら、長岡技術科学大学で都市計画の研究をしています。自分の経験を活かしたくて、委員に応募しました。長岡はたくさんの魅力があり住みやすい。しかし、そのことを知らないまま市に出ていく学生がいて、もったいないと感じています。より多くの若者が長岡に魅力を感じ、住み続けたいと思うまちになるよう、大学で得た専門性や学生の視点から提案していきたいです。

市民とつくる計画

ロゴが決定

「計画策定をきっかけに、多くの人から長岡の未来をどうしていきたい」という思いを込めて作成しました。デザインしたのは、長岡造形大学3年の植田結莉さん。特徴的な星が、長岡の「輝く未来」を表現しています。

実施中 全市民対象のWebアンケート

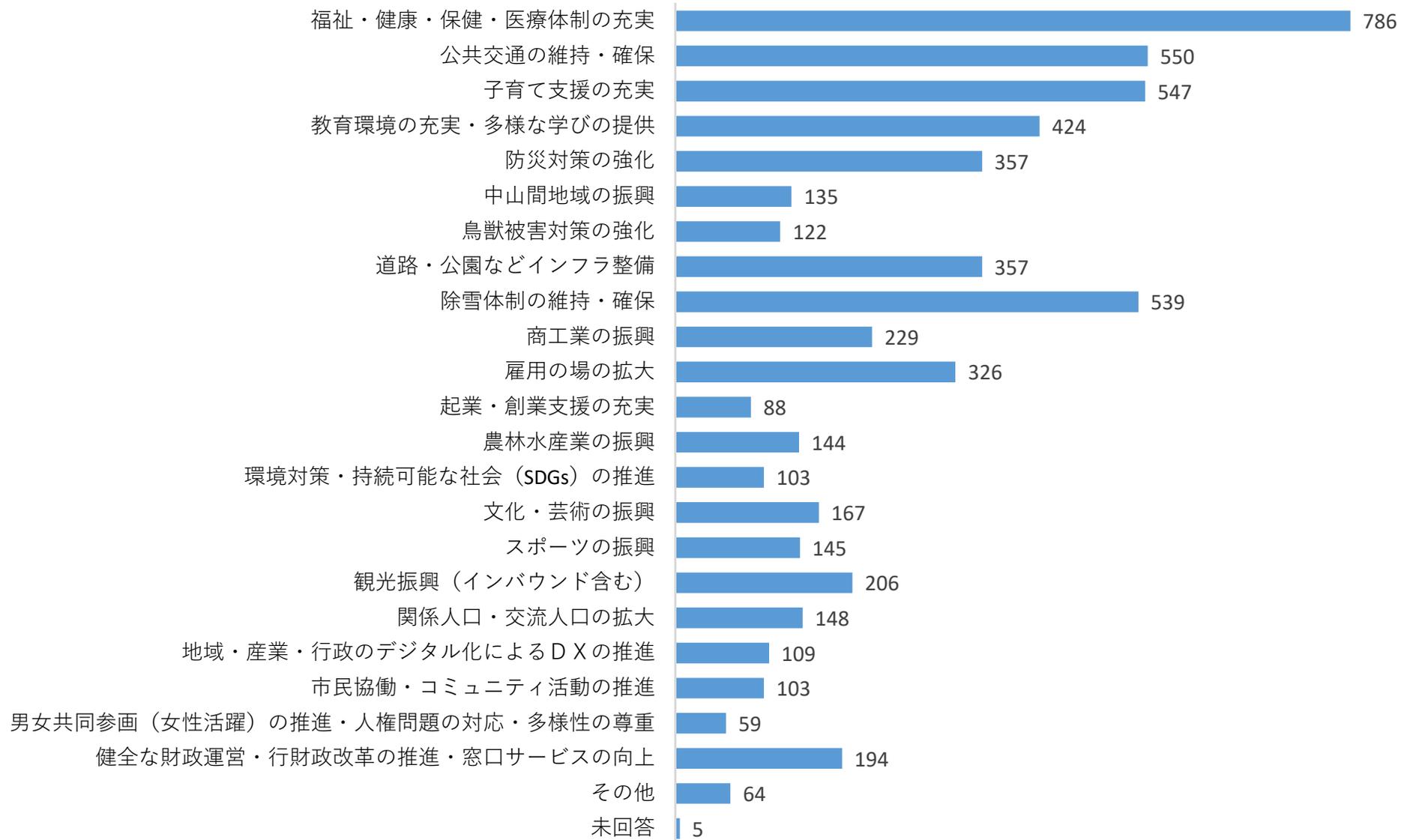
あなたの声を長岡の未来に！

「長岡市に特に力を入れてほしい取り組み」などを答えます。回答目安は3分以内で、手軽にできます。

実施期間 = 1月15日まで ▶ 応募はこちら

7 | 市政だより 2025.1

特に力を入れてほしい取り組み



その他の意見（複数の方からあった意見）

- 企業・商業施設の誘致
- 婚活の手助けをして欲しい。結婚したいと思っても出会いの場がない
- 防犯対策の強化
- 空き家対策
- 教員の就労環境の改善
- 若者Uターン、Iターンの対策
- 原発の不安が無い町になって欲しい

10年後の長岡市がどのようなまちになってほしいですか

子育て・教育

- 子どもたちが色々な体験ができる場があるといい
- 生徒たちの交流を拡大し、多様な学びを共有してイノベーションが生まれ、また若者が拠点とする街
- 保護者だけでなく市民全体で子どもを見守るようになっていたら
- リスキリング活用による生涯学習政策の拡張
- 米百俵の精神に則り、思い切った教育への投資が行われている

観光・交流

- 八十里越道路や北陸新幹線へのアクセス向上により、広域をつなぐまちとして存在感を高める
- 人口減少はいたしかたないが、観光や産業で魅力ある特色を発揮してもらいたい
- 観光、インバウンドにも一層注力頂きたい
- 自然、食、文化、歴史、温泉、花火全て揃っています。広域での観光プランを実施

産業

- 1次、2次、3次産業すべてに希望が持て、またそれぞれで長岡ブランドが世界に轟く街
- 子育て世代の人たちが生活しやすい収入環境や労働環境
- シリコンバレーのように産業創造が容易に出来る環境に
- 市内出身者、市内大学の卒業生が働きたいと思える環境の整備
- 都市からの人材流入、企業誘致や起業支援施策の充実

福祉・医療

- スポーツを通して健康寿命を伸ばし子供から高齢者まで魅力ある地域に
- 年齢を重ねても安心して暮らしていけるまち
- さいわいプラザの休日急患診療は大変助かっております
- 引きこもりの人や障害者等、社会参加できていない人への支援の充実
- 在宅介護、医療の充実、買い物、通院などの交通手段など山間部の老人が安心して暮らせる

まちづくり インフラ

- 免許返納後も交通手段に困らないまちづくりを
- 買い物不便にならないように公共交通機関が充実していると良い
- 中心市街地に人が行き交う賑わいのあるまち
- 空き家(実家など)の問題に悩まなくてもいい街
- 人口は減り続けるので、それでも今のインフラが保たれるようコンパクトシティに

行財政

- 市役所窓口の対応時間の柔軟性や救急車でたらい回しにされない安心感、ゴミの収集の頻度などはとても素晴らしい有り難い
- 公共事業も大切ではあるが、税金を効率よく使い市民の負担を減らして未来に繋げて欲しい
- DXの活用により、行政手続きや買い物、医療等、どこに住んでいても便利なサービスが等しく受けられるまち

安全・安心

- 自然環境が保護されている、原発事故に怯えていたくない
- クマとイノシシの駆除ももっとやってほしい
- 冬季の道路交通網の確実な維持
- 安全で、災害に強い、全世代に便利な街、街消防団装備の強化

その他

- 国の支援をあてにするのではなく自分たちで創造・発展するまち
- LGBTQ+やマイノリティという言葉を使わず、価値観を尊重できる人たちが暮らすまち
- アルビ B B が強くなって B 1に上がり盛り上がり欲している
- 明るく皆が協力し合えるコミュニティのしっかりしたまち

市内団体等アンケート

自然の豊かさ、首都圏への交通アクセスの良さが強み。若者が定住し、誰もが安心して暮らせるまちに

山・川・海などの自然に恵まれ、多様な地域資源があること、上越新幹線により首都圏へのアクセスが良いことを強みとする声が多かった。一方で、長岡花火以外突出した強みがないとの声も。理想とする市の姿として、若者の市外流出を防ぎ、定着することで活気のあるまちに。人口減少を見据え、誰もが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを望む声が上がった。

●対象 市政に関係する230団体
●回答 60団体

●日時 2024年12月2日（月）～12月20日（金）
●方法 各団体へ調査票を郵送し、専用フォームから回答

テーマ	意見の多かったキーワード	主な意見
長岡市の良い点、強み、継続すべき取り組み	自然	<ul style="list-style-type: none">四季がはっきりしているため季節感が十分に感じられ、山・川・海と観光スポットとなる魅力的な地域資源や観光資源が多い海から山まで豊かな自然に恵まれている災害に強いまちづくりが進められている山林や田畑の保全並びに鳥獣被害及び自然災害の防止
	アクセス、交通	<ul style="list-style-type: none">新幹線、高速道路など県内県外（首都圏）とのアクセスが良好道路環境（舗装等）が整備されているため、暮らしやすい渋滞がほとんどなく移動にストレスを感じない
	人材育成、4大学1高専	<ul style="list-style-type: none">4大学1高専があり、人材が育つ環境があり、ミライエ長岡を基点とした若者に情報が発信しやすい環境が整えられている人口減少の課題はあるが、活力あるまちづくりや人材育成に取り組んでいると感じる技大や高専、造形大をはじめとした高度専門教育機関があり、行政と連携ができていること米百俵のスピリット
	医療・福祉	<ul style="list-style-type: none">3病院を中心とした医療体制が充実している介護予防や地域サークルへの支援など医療・福祉・介護が充実しているICTの活用など介護サービスの社会資源が充実している
	観光資源、伝統文化	<ul style="list-style-type: none">長岡花火・縄文遺跡・錦鯉・米づくりなどの伝統文化がある地域の宝を輝かせるイベント等地域に根付いた行事の継続花火大会や日本酒などの観光資源を活かし、さらに発展させ、国内外へのPRを強化
	産業	<ul style="list-style-type: none">農業・機械金属業・酒造業・錦鯉養殖業・観光業・エネルギー業等の多種多様な地場産業が存在している生ごみバイオガス発電センターの稼働や環境学習の場の提供など環境保全への取り組みを高く評価している市内企業の魅力が十分に認知されるよう情報発信をこれまで以上に強化
	中心市街地、駅前	<ul style="list-style-type: none">駅周辺や商業施設集積地には若者が集いやすいアリーナや幅広い年齢の方が利用できる交流の場、市民活動の場として活用できる場が市の中心部にあることはありがたい大手スカイデッキは、高齢者、子育て世代、障害者などにとって移動の壁が低くなっており生活の場の拡大に繋がっている

テーマ

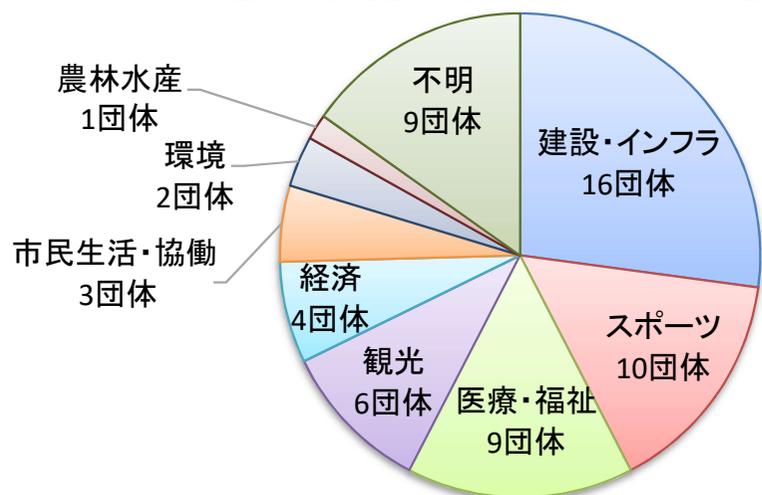
理想とする長岡市の姿

理想とする姿の実現に向けた団体等の取り組みや、市と連携して取り組みたいこと

この地で事業を始めたい、この地で長く事業を続けていきたいと思えるまち
合併地域がそれぞれの特色を生かせるまち
若者などの人材資源の定着 、働きがいのある街、住み続けられる長岡市、観光による集客、産業の創出
高齢者や障がい者そして子どもたちが 安心して暮らせる まち
市内で生まれ、育ち、学び、就職し、家庭を持ち、子供を育て、年を重ねていき、 長岡市で生まれ育ってよかったと思える まち
旧長岡地域だけでなく、各支所 地域の資源や魅力を大切にしながら発展 していくまち
大都市への人口流出に歯止めをかけられるように。長岡に住みたいと思うまち
人口減少を見据えたまちづくりが必要。市民及び市内で働く人たちが、「 心の豊かさ 」を感じられるまち
安心して子どもを育てる ことができるまち
若者が定住 でき、生きがいの持てる町づくり
教育に力を入れ優秀な人材が集まりまた輩出できる街
自然豊かで文化が息づき、産業が活発で、子育て・教育への支援サービスが充実し、世代や国籍を超えた交流が盛んで誰もが『 ここに住みたい 』と思う街
市外から移り住む人が増えるまち
年齢や国籍が違って、病気や障害があっても だれもが安心して暮らせる まち
交流人口の増加、インバウンド誘客の推進
若者の県外流出を無くし 人材育成にもっと力を入れ魅力あるまち

- 事業者数を維持（できれば増やしたい）する取組が、住みよい環境づくりの一つになる
- 創業、事業承継について市と情報共有を図りながら、補助金を有効活用し取り組みたい
- 合併地域の活力が失われている理由の一つはアイデンティティの欠如。一過性のイベントではなく、市外の地域との交流・化学反応を促進する試みが必要
- 地域が活性化できるようイベント等に積極的に取り組み、地域の魅力を発信、観光誘客に取り組む
- 人口減少、高齢化等で地域の産業が衰退しないよう地域のにぎわい創出に取り組む
- 小中学校に対する総合学習への「高齢者福祉からの出前授業」を実施している
- 市や包括支援センターと連携して取り組んでいる「健康教室」は健康寿命を延ばす意味からも、高齢者人口が増加する中ではますます重要となっている
- 今後も地域の中で必要とされる法人を目指し、地域の中で困っている方、フォーマルなサービスでは対応しきれない部分を、制度や障害の有無の枠組みを超えて、お互い様の精神で手伝っていききたい
- 地域おこし協力隊による、観光資源等の発信や活用
- 地域資源の磨き上げを通じた地域愛着の醸成、関係機関と連携した誘客促進の取り組み
- 若者の地元就職向上に向けたPRや支援への取り組み
- 教育現場や各種イベント等を通じて、積極的に世代間交流を図ることができれば、いろいろな立場の人が地域を見直すきっかけになるのではないか

回答のあった団体等の分野（合計60団体）

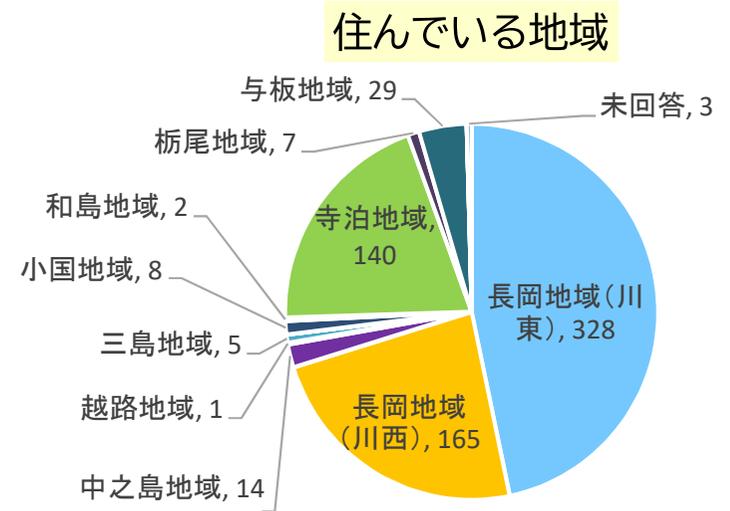
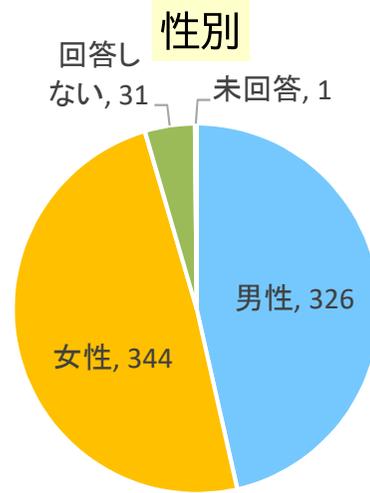


市内中学生アンケート

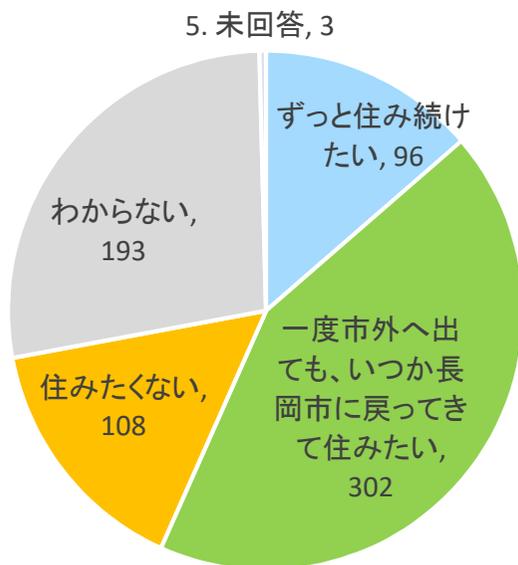
長岡に住み続けたい、戻ってきたいと考える生徒は57%、約半数の生徒が「長岡花火」が自慢と回答

長岡市に住みたい、一度市外へ出て戻ってきたいと考えている生徒が半数を超える回答があった一方で、住みたくないと考えている生徒も15%いた。住み続けたい理由で「自分が生まれたところだから」の理由が最も多く、生まれ育った長岡市に愛着があることが伺える結果となった。10年後は「活気のあるまち」を望む声が多かった。

- 対象 市内の中学校に通う生徒のみなさん
- 回答 702人
- 日時 2024年12月4日（水）～12月25日（水）
- 方法 学校を通じて周知し、専用フォームから回答



ずっと長岡に住み続けたいと思いますか



住み続けたい(戻ってきたい)理由(上位5)

1	自分が生まれたところだから
2	米が美味しいから
3	自然が豊かだから
4	居心地がいいから
5	家族がいるから

住み続けたくない理由(上位5)

1	田舎だから
2	都会に行ってみみたいから
3	遊べる場所が少ないから
4	天候が悪いから・雪が多いから
5	交通の便が悪いから

【主な意見】

- ・長岡は**自分が生まれた大切な場所**。一番落ち着く。自然豊かでおいしいものがたくさんある。
- ・都会に住んでも疲れた時に**長岡に戻ってきたい**。
- ・**都会に行ってみたい**。都会のほうが仕事も娯楽も多いし、交通が便利。
- ・長岡は雪が多く、冬の毎朝の**雪かきが大変**。**一人暮らしをしてみたい**。
- ・まだ考えられない、将来どうなるか全くイメージがわからない

長岡の自慢できるところ(上位5)

1	長岡花火
2	お米がおいしい
3	自然が豊か(多い)
4	人が優しい
5	食べ物がおいしい

330人以上
が「長岡花火」
と回答

【主な意見】

- ・長岡花火があるところ。平和についてみんなで考えることもいいと思う
- ・全国から注目されている長岡花火が自慢
- ・日本有数のコメの産地なこと、お米が毎日おいしい、給食もおいしい
- ・山も海も川もあって自然が豊かなところ、田んぼの景色が素晴らしい、雪がたくさん降るところがいい
- ・海も山もあり、四季折々たくさんの充実した遊びが楽しめる
- ・人が優しい、地域でのボランティアが活発、あいさつがいい、人口は少ないけどつながりが強くて協調性がありみんな優しい
- ・食べ物がなんでもおいしい、生姜醤油ラーメン、海鮮、あぶらげ、笹団子などおいしいものがたくさんある
- ・治安がいい、あたたかい雰囲気がある、住みやすい、空気がきれい
- ・歴史や伝統文化がある
- ・米百俵の精神
- ・アルビレックスBBのホーム

10年後の長岡市がどんなまちになっていると良いか(上位5)

1	活気があるまち(お店の充実など)
2	今より発展してほしい
3	今のまま変わらないでほしい
4	誰もが住みやすいまち
5	人口が増えているといい

【主な意見】

- ・市外から人が集まってくるような活気があるまちになってほしい
- ・若者が集まるスポットがたくさんあるといい
- ・遊べる場所や買い物できる場所が増えているといい
- ・今より活気がある、多少都会になっているといい
- ・発展しつつも自然は残っているまち
- ・このままだいい、今と変わらずちょうどいい田舎であってほしい
- ・自然豊かな住みやすいまち
- ・小さい子供から高齢者まで住みやすいまち
- ・人口が増えて安心して子どもが育てられるまち
- ・海外との交流が増えるといい
- ・災害に強い安全なまちになってほしい
- ・人々が進んで助け合うまち

- ・公共交通機関のバリアフリー化を改善してほしい。福祉が整っていて安心できるまちになってほしい
- ・子育てに手厚い支援があったり、安心して子どもを学校に通わせられるまち
- ・アウトレットが欲しい。もっと観光客が来るようにして。東京みたいのにぎやかな街にしてほしい
- ・やりたいことを実現する若者に協力してくれる市でいつづけてほしい
- ・働きたい仕事がある
- ・みんなが平和に暮らすことができるといい
- ・周りの人たちが仲良く笑いあって、つらい思いをしている人がいないまち

みなさんの声をお聞かせください

「長岡市総合計画」中学生アンケートご協力のお願い

長岡の明るい未来に向けて、中学生の皆さんの声をまちづくりに活かします



総合計画ってなに？

長岡市をもっとよいまちにしていきたいための計画です。

みなさんが将来大人になっても、安心して住み続けることができるまちにしていきたいために、めざすまちの姿を決めて、長岡市で暮らしている人や働いている人など、地域の人が一緒になって、もっとよいまちにしていきたいに取り組むことをまとめます。

現在、長岡市では「長岡市総合計画」の作成を進めています。計画の期間は、令和8年4月から令和17年3月までの10年間で。

そこで、これからの未来の長岡市を担う中学生の皆さんから、さまざまなご意見を聞いて計画作成の参考にしたいと考えています。長岡市を魅力あるまちにしていきたいため、アンケートにご協力をお願いします。アンケートは強制ではありません。

また、無記名での回答になりますので、回答した人が特定されることはありません。思っていることを自由に書いてください。

みなさんにお聞きしたいこと

- 1 あなたの性別を教えてください。(選択式)
- 2 あなたの住んでいる地域を教えてください。(選択式)
- 3 あなたは大人になってもずっと長岡に住み続けたいと思いますか(選択式)
- 4 住み続けたい(住み続けたくない)理由はなんですか(記述式)
- 5 長岡市の自慢できるところは何か(記述式)
- 6 10年後の長岡市がどんなまちになっていると良いですか。(記述式)

アンケートはこちらから

下記の URL または右側の QR コードからアンケートページにアクセスして回答してください。

URL: <https://logofom.jp/f/VWn84>



長岡市地方創生推進部 政策企画課
Tel: 0258-39-2204
E-mail: info@city.nagaoka.lg.jp

